

グループホームの火災予防対策について

令和6年1月22日(月)

1

本日の流れ

- 1 過去の社会福祉施設の火災について
- 2 火災発生の防止及び火災発生への備えについて
- 3 火災発生時の対応について

2

過去の主な社会福祉施設の火災

発生年月日等	施設・死傷者等
昭和62年6月6日 東京都村山市	特別養護老人ホーム「松寿園」 死者17名 負傷者25名
平成18年1月8日 長崎県大村市	認知症高齢者グループホーム「やすらぎの里」 死者7名 負傷者3名
平成20年6月2日 神奈川県綾瀬市	知的障害者施設「ハイムひまわり」 死者3名 負傷者1名
平成20年11月13日 宮城県仙台市	老人福祉施設「六郷の社」 負傷者33名
平成21年3月19日 群馬県渋川市	有料老人ホーム静養ホーム「たまゆら」 死者10名 負傷者1名
平成22年3月13日 北海道札幌市	認知症高齢者グループホーム「みらいんでん」 死者7名 負傷者2名
平成25年2月8日 長崎県長崎市	認知症高齢者グループホーム「グループホームベル東山手」 死者5名 負傷者7名

3

認知症高齢者グループホーム「やすらぎの里」

○発生日時等

平成18年1月8日02時25分

○原因

共用室のソファにマッチやライター等での
放火と推定

○被害概要

死者7名 負傷者3名

○消防用設備等

消火器、誘導灯

○その他

利用者のほとんどが歩行困難者



4

火災当時の職員の対応

(1) 初期消火状況

1名の施設職員が、消火器(粉末)で初期消火を試みたが、消火できずに断念した。

(2) 通報状況

職員が助けを求めに施設外へ走り出て、県道を通行中の車を止めて、その運転手から渡してもらった携帯電話で通報した(110番)。

(3) 避難・救出状況

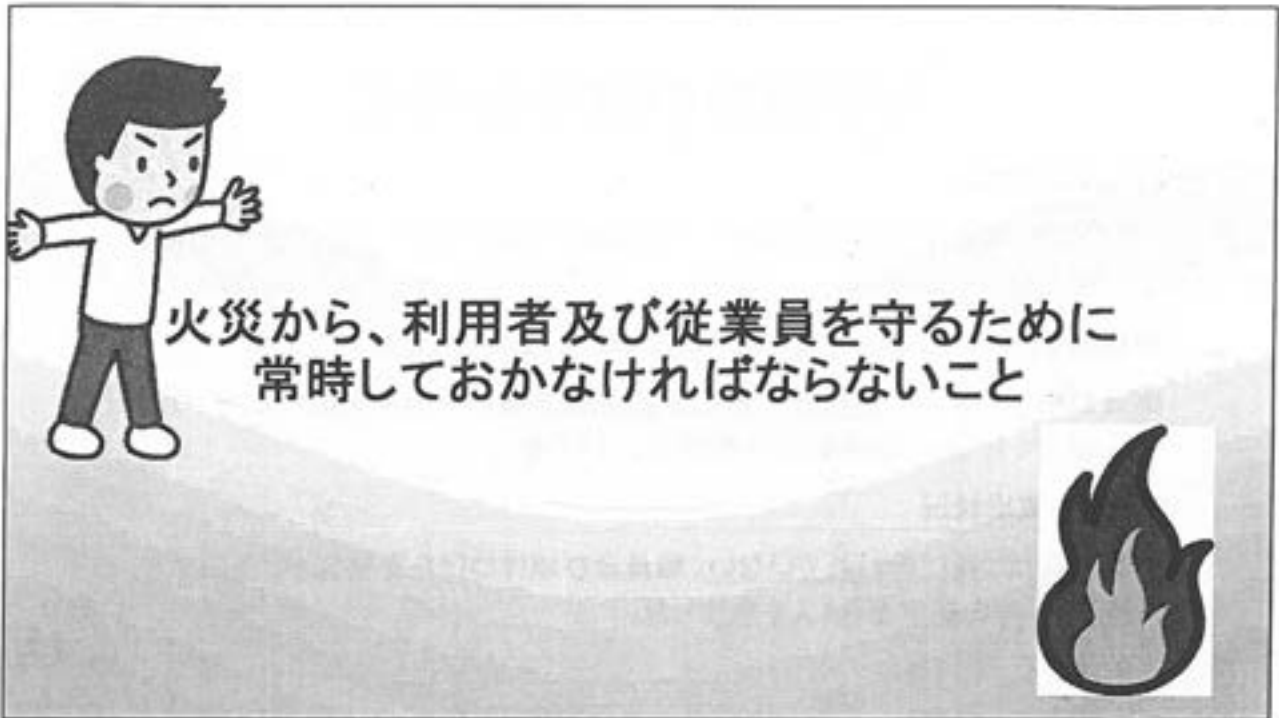
避難誘導は、特に行われていない。職員及び駆けつけた警察官が、施設東側の居室並び側の居室から4人を救出した。

5

なぜ多くの死傷者が発生したのか？

- 1 夜間の施設職員が一人しかいない時間に火災が発生した。
- 2 通報するまでに時間を要している。
- 3 初期消火ができなかった。
- 4 避難誘導が適切に行われていない。
- 5 当時の法令上、自動火災報知設備、火災通報装置及びスプリンクラー設備等の設置義務がなかった。
- 6 防火管理者の選任義務がなかった。⇒防火管理体制が構築されていない。

6



7

ハード面について(消防用設備等の設置及び維持管理)

- 1 法令遵守
- 2 消防用設備等点検報告の実施

(半年に1回点検・1年に1回結果報告)

- 3 不備事項の改修

8

ソフト面について(防火管理体制)

1 火気管理の徹底

(暖房器具、厨房設備、喫煙所など)

2 避難経路の確認と日頃の整理

3 全ての従業員が火災時に適切に対応できる従業員教育 の推進

4 年に2回以上、消防訓練を実施



9



火災から、利用者及び従業員を守るために
火災発生時にしなければならないこと



10

火災が発生したら

通報後から消防隊が

現場に到着するまで平均4分程度(京都市)

それまでにしなければならないことを実施！！

11

火災発生時にしなければならないことは？

CHAPTER 1

覚知・通報

CHAPTER 2

初期消火

CHAPTER 3

避難・搬送

12

CHAPTER 1

覚知・通報

Ⅰ覚知

- ・自動火災報知設備にて、早期に火災の発生を覚知及び火災発生場所の特定

Ⅰ通報

- ・火災通報装置等を用いての迅速な消防機関への通報

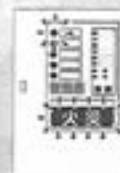
13

CHAPTER 1

覚知・通報

Ⅰ自動火災報知設備

火災による煙や熱を感知器が早期に自動的に感知して、警報ベルなどで、建物内の人達に火災を知らせる設備



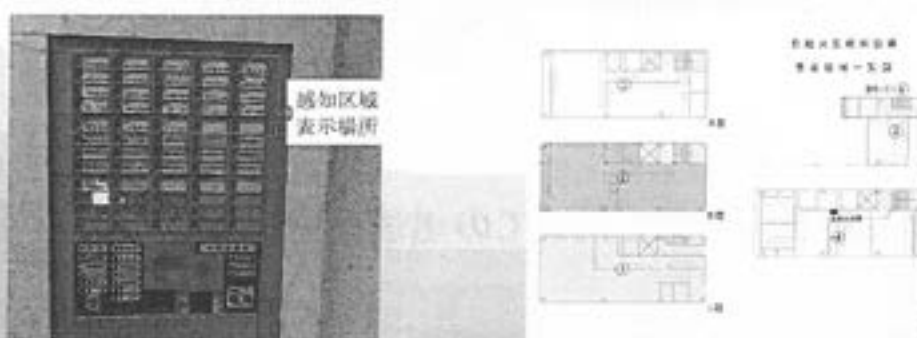
14

CHAPTER 1

覚知・通報

火災発生場所の特定

◇自動火災報知設備の受信機及び警戒区域図により、建物内のどこで火災が発生しているのかを確認。



15

CHAPTER 1

覚知・通報

火災通報装置

火災が発生した場合において、ボタンを押す、又は自動火災報知設備の感知器の作動と連動することにより、電話回線を使用して消防機関を呼び出し、事前に登録している音声情報により通報するとともに、通話を行うことができる装置。

認知症高齢者グループホームは、連動必須！！



16

CHAPTER 1

覚知・通報

火災通報装置の注意事項

◇自動火災報知設備の作動との連動を切らない

◇消防機関からの呼び返しがあつたときの対応



17

CHAPTER 1

覚知・通報

CHAPTER 2

初期消火

CHAPTER 3

避難・搬送

18

CHAPTER 2

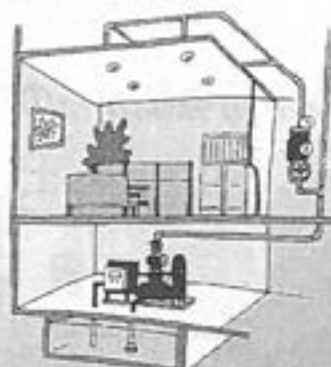
初期消火

消防用設備等の使用

◇消火器



◇スプリンクラー設備



19

CHAPTER 2

初期消火

消火器

◇全従業員が使用方法を把握

- ・訓練等の機会に、使用方法を確認する。

◇設置場所の把握

- ・歩行距離20m以内に1個設置し、1箇所に固めて置かない。

20

CHAPTER 2

初期消火

消火器の注意事項

◇炎が天井に達しそうなとき、また、壁に燃え移っ

ているときは、消火不可能！！

⇒ 避難誘導及び搬送を優先！！

21

CHAPTER 2

初期消火

スプリンクラー設備



天井に設置されてるスプリンクラーヘッドが、火災の熱に反応して、自動的に水を噴射し、消火、また延焼を抑制し、避難時間を稼ぐための設備

- 1 水槽やポンプが設置されているスプリンクラー設備
- 2 水道連結型スプリンクラー設備

22

CHAPTER 2

初期消火

【スプリンクラー設備の注意事項】

スプリンクラーの放水口の周りに、間仕切りや家具・垂れ壁といった障害物があると、有効に散水されない。

スプリンクラーヘッドの周りは、消火の邪魔にならないように、水平方向に30cm以内、垂直方向45cm以内は、物を置かないようにする必要がある。



23

CHAPTER 2

初期消火

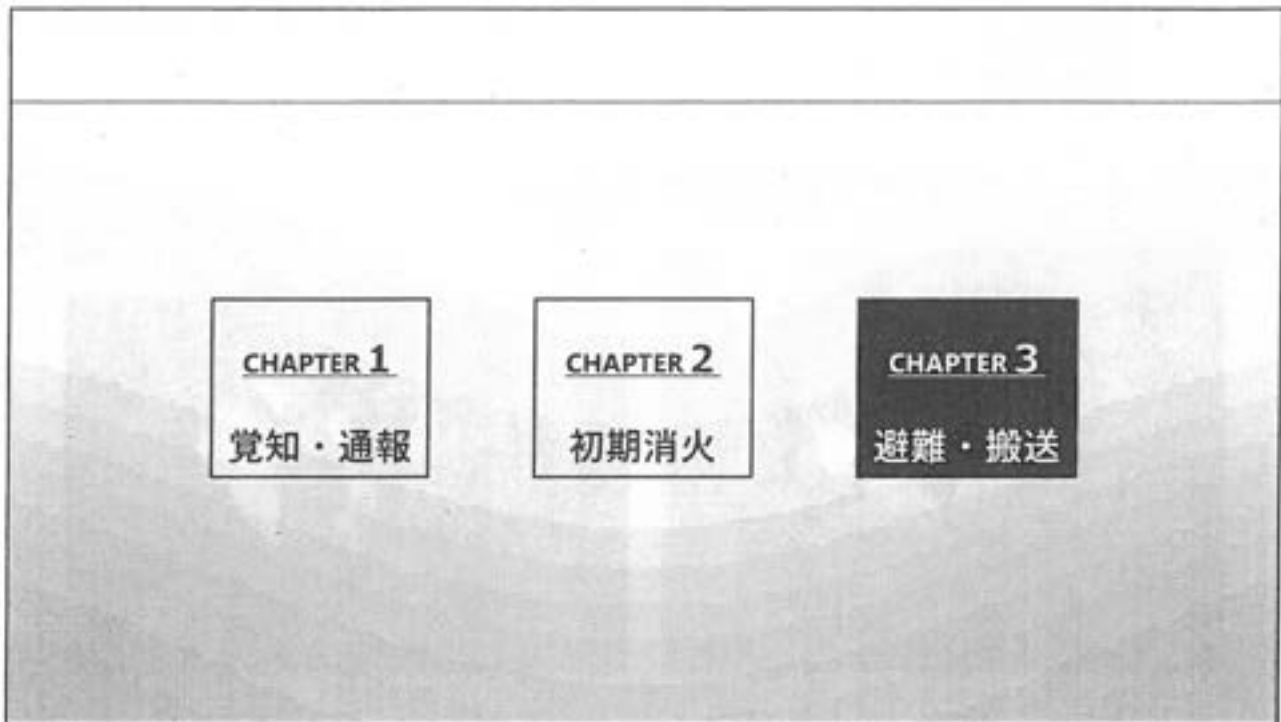
【消火後の対応】

消火後は、水損防止のために放水を停止

- ①制御弁の閉止
- ②ポンプの停止
- ③直ちに施工又は点検業者へ連絡



24



25

CHAPTER 3
避難・搬送

Ⅰ入所者を避難させるための行動

- ◇ 大きな声で火災の発生を知らせる
- ◇ 廊下の窓の開放
- ◇ 自力歩行困難な方の搬送
- ◇ 逃げ遅れがないかの確認

26

CHAPTER 3

避難・搬送

一人で徒手で移動させる方法



27

CHAPTER 3

避難・搬送

一人で徒手で移動させる方法



28

CHAPTER 3

避難・搬送

一人で襟を掴んで移動させる方法



29

CHAPTER 3

避難・搬送

毛布、シーツを利用して移動する方法



30

CHAPTER 3
避難・搬送

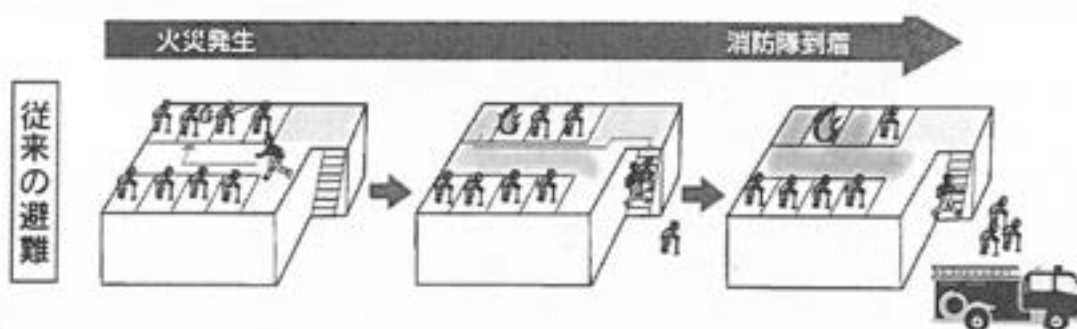
Ⅰ水平避難

火災の発生場所からできるだけ離れ、消防隊が到着するまでの間、安全な場所(一時待避場所)に一時的に避難する。

31

CHAPTER 3
避難・搬送

Ⅰ従来の避難

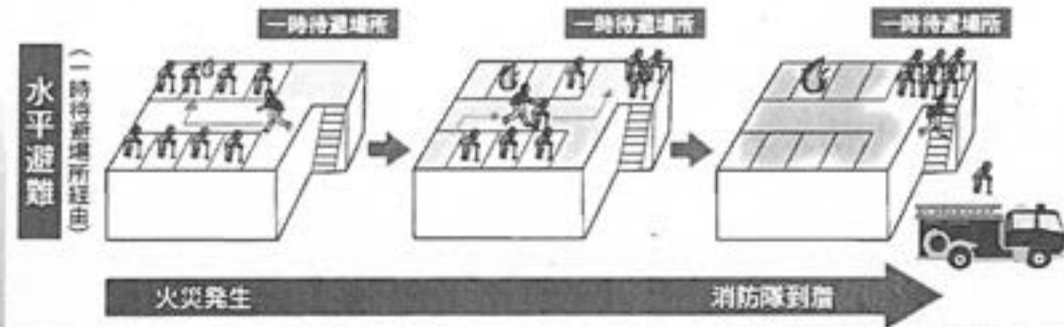


32

CHAPTER 3

避難・搬送

Ⅰ水平避難



33

CHAPTER 3

避難・搬送

Ⅰ一時待避場所の設定

一時待避場所に適している場所は、通報から消防隊が救出までの間、危険な状態にならない場所及び救出活動が円滑に実施できる場所

第一優先は、階段 バルコニー

34

CHAPTER 3
避難・搬送

Ⅰ一時待避場所の設定

1 階段(内側)

消防隊が発見しやすい。

防火扉や防火シャッターが設置されている。

2 バルコニー

外気と接しており、一酸化炭素中毒を防ぐことができる。

消防隊が救助者を見つけやすく、救出しやすい。

35

CHAPTER 3
避難・搬送

Ⅰ一時待避場所の設定

3 居室

- ◇ 一時待避場所と廊下の間には、戸が設置されていること。
- ◇ 居室を一時待避場所とする場合は、消防機関による円滑な救助活動ができるよう、屋外に面した窓等が(幅及び高さが各50cm以上)あること。
- ◇ 一時待避が想定される利用者の人数、状態等に適した広さがあること。
- ◇ 一時待避場所には、上記の戸と廊下との間の隙間を塞ぐためアルミテープ等の不燃性のテープを用意すること。

36

CHAPTER 3
避難・搬送

■待避完了後の行動

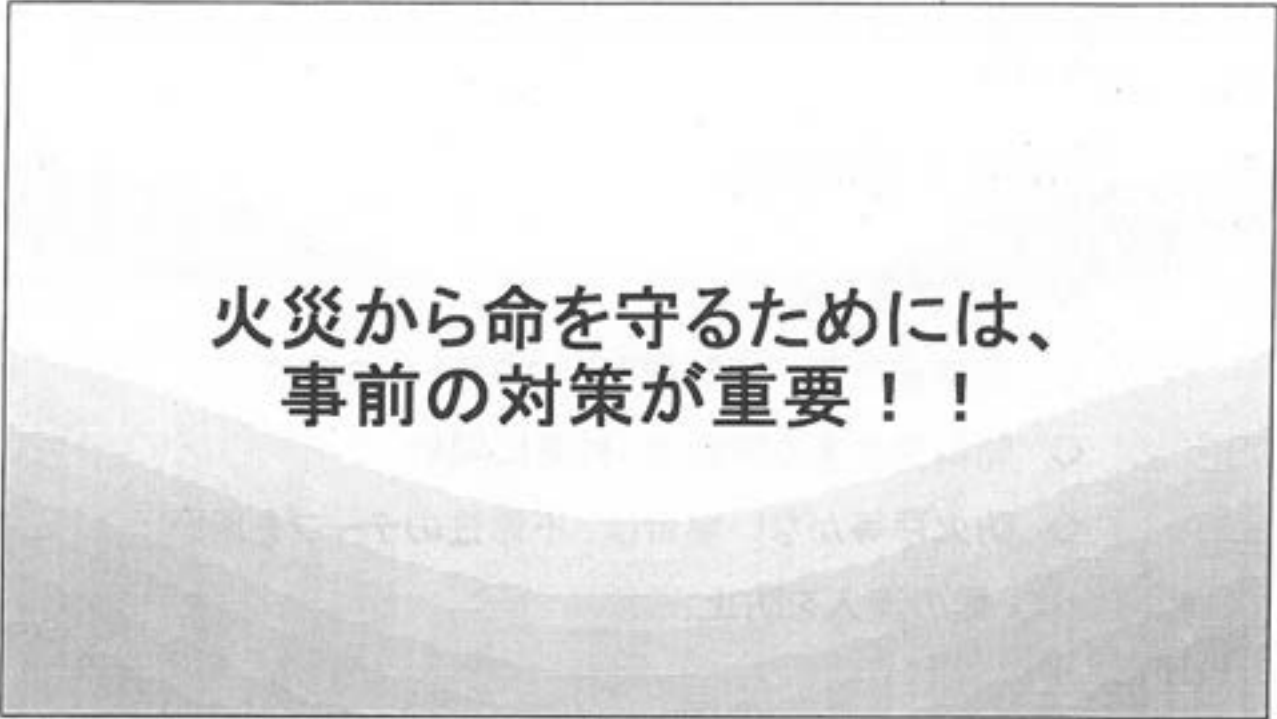
- ◇ より安全な場所への搬送
- ◇ 携帯電話等で消防機関(119番)への連絡
- ◇ 開口部がある場合は、外気に開放
- ◇ 防火戸等がない場合は、不燃性のテープを用いて、煙の流入を防止

37

本日の内容

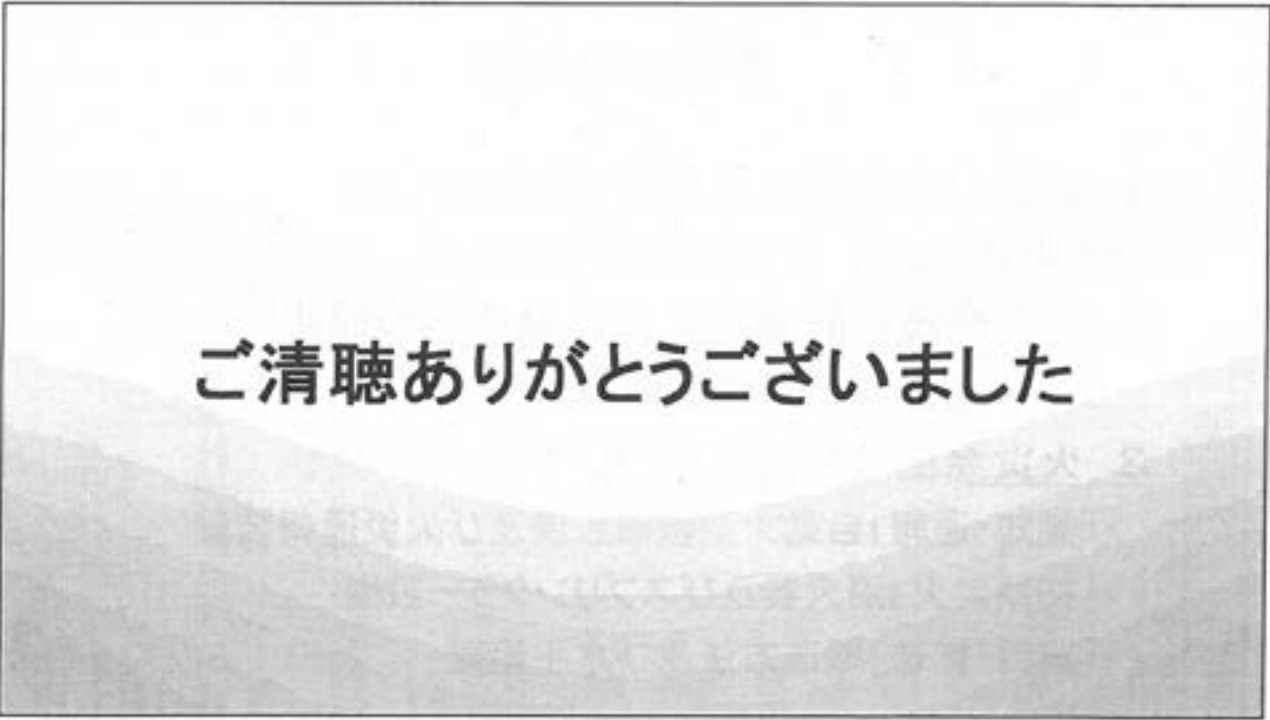
- 1 過去の社会福祉施設の火災について
 - ・長崎県大村市「やすらぎの里」について
- 2 火災発生の防止及び火災発生への備えについて
 - ・ハード面及びソフト面について
- 3 火災発生時の対応について
 - ・「覚知・通報」自動火災報知設備及び火災通報装置
 - ・「初期消火」消火器及びスプリンクラー設備
 - ・「避難・搬送」搬送方法及び水平避難

38



**火災から命を守るためには、
事前の対策が重要！！**

39



ご清聴ありがとうございました

40